

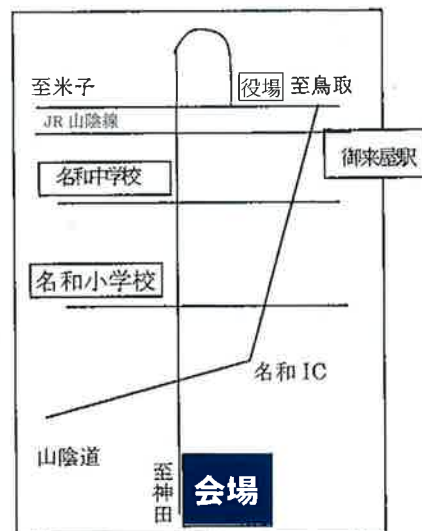
第2回大山町総合文化祭を開催します

日程 10月24日(土)、25日(日) 2日間

会場 名和農業者トレーニングセンターほか

芸術文化の秋10月、今年は名和農業者トレーニングセンター周辺を会場に、総合文化祭を開催することが、6月11日に開いた実行委員会で決定しました。

昨年に引き続き、町内で取り組んでこられた「展示」や「ステージ発表」の文化活動をメインとして、「交流」「賑わい」も交えたさまざまな催しを実施していきます。ただいま、展示、発表、即売の各部門で詳細を検討しており、8月には詳細な要項をお知らせする予定です。どうぞご期待ください。



仏像の見学会を開きました!!

最近では仏像鑑賞が密かなブームになっており、書店でも店頭にも仏像の鑑賞方法などに関する書籍のコーナーが設けられたりしています。

本町の大山寺にも貴重な仏像が残されていますが、その価値についてはあまり知られていません。そこで、社会教育課と大山公民館では、大山寺に伝わる仏像の解説をとおして大山寺の素晴らしさを知っていただくため、御幸祭の5月24日(日)に、元鳥取県立博物館学芸員の小山勝之進さんを講師に招き、大山寺の宝物館「霊宝閣」で見学会を開きました。

小山さんは、大山寺僧坊跡の国史跡指定をめざして教育委員会が組織している「大山僧坊跡等調査委員会」の専門委員の一人で、日頃から大山寺に残る仏像や古絵画などの調査でご協力をいただいています。今回はその成果を踏まえて、美術工芸としての仏像の価値についてお話をいただきました。町内外からの参加者約30人は小山さんの仏像についてのお話を熱心に聴き入っておられました。

大山寺に伝えられている仏像は少なく、その中では特に国の重要文化財に指定されている阿弥陀三尊木像(阿弥陀堂内)や霊宝閣内の銅造仏像4体が代表的です。小山さんは「それ以外にも立派な仏像がいくつか残されている」「貴重な仏像はもっとたくさんあったはずだが、廃仏毀釈の頃に失われてしまったことが残念」と話されていました。

また、当日は国の重要文化財「阿弥陀堂の一般公開」(大山寺主催)の期間中であり、小山さんには午前中にも阿弥陀堂で阿弥陀三尊木像の説明もいただきました。2時間で約100人の参加があるなど盛況でした。



▲ 小山勝之進さんの説明に聴き入る参加者(阿弥陀堂にて)

社会教育課文化財調査班